



ちがさき都市づくり通信

みなさんの意向をプランに反映するため
市民参加を実施しました！

2018.2.1
第2号

■発行 茅ヶ崎市 都市政策課 〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
TEL: 0467-82-1111(内線2342) FAX: 0467-57-8377
E-mail: toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

◆「茅ヶ崎らしさ」を捉え直し、みんなで共有

- ちがさき都市マスタープランの改定にあたっては、「住みたい住み続けたいまち」を基本的な考え方としています。こうした都市の実現には、「茅ヶ崎らしさ（価値・魅力）」を市民・事業者・市で共有しながらの一体となった都市づくりが大切です。
- そこで、今一度、みなさん（生活者）の目線での「茅ヶ崎らしさ」を捉え直すための要素を抽出するためにいくつかの市民参加を行いました。
- なお、「茅ヶ崎市みどりの基本計画」と「茅ヶ崎市景観計画」も改定作業を進めており、その中でも「茅ヶ崎らしさ」の要素を抽出するための市民参加を行っています。
- 今後は、こうした様々な市民参加の結果を踏まえて、みんなで共有すべき「茅ヶ崎らしさ」を捉え直し、計画に反映させていきます。

第2号の内容

- ◆「茅ヶ崎らしさ」を捉え直し、
みんなで共有
- ◆みなさんの目線でみた茅ヶ崎
の価値・魅力を把握
- ◆市民討議会の実施概要と
主な意見……………2ページ
- ◆ちがさきの都市づくりを考える
グループインタビューの実施
概要と主な意見……………3ページ
- ◆転入者へのWebアンケート
の実施概要と結果概要…4ページ

都市マスタープランでは3つの市民参加を実施しました。

- 「市民討議会」
- 転入者への「グループインタビュー」
- 転入者への「Webアンケート」

今回の通信で
をご紹介します！

◆みなさんの目線でみた茅ヶ崎の価値・魅力を把握

- ちがさき都市マスタープランでは、「住みたい」と「住み続けたい」に分けて考えて市民参加を実施しました。
- 「住み続けたい」では、事前に実施した基礎調査結果より「茅ヶ崎らしさ」の大きなイメージを把握し、市民討議会でみなさん（生活者）の目線での暮らし、暮らし方から茅ヶ崎の価値・魅力を感じるための要素を把握しました。
- 「住み続けたい」に繋がる要素や価値・魅力を高める要素を把握するために、抱いていたイメージと実際に住んで感じたイメージとのギャップや、住んでみて良かったと感じた事などをグループインタビューでお聞きました。
- 「住みたい」では、近年茅ヶ崎市に転入した方を対象にアンケートを行い、居住地選択の要素を把握しました。



今後、市民参加により頂いたみなさんのご意見を計画づくりに活かしていきます。

◆「市民討議会」の実施概要と主な意見

- ・実施日：平成 29 年 7 月 30 日（日）
- ・テーマ：「**自分らしく生きるまち・茅ヶ崎の魅力**
一日々の暮らしから 好きな場所、身近な自然、まちなかでの移動 を語り合うー」
- ・2,000 名に案内を募集、37 名が参加、9 グループに分かれて討議
- ・文教大学、茅ヶ崎青年会議所と連携して実施
- ・都市政策課（都市マスタープラン）と景観みどり課（みどりの基本計画・景観計画）とで合同実施



◆主な意見／討議①：

茅ヶ崎の魅力の確認（好きな場所）

- 好きな場所は、自然、公園・緑地、文化・レクリエーション施設、みち、お店など多様
- 好きな時間に、家族や友人と、一人で、癒ややくつろぎ、リフレッシュを求めてウォーキングやサイクリング、買い物などの自由時間を楽しむ
⇒自然や都市の便利さ、文化資源を身近に享受できることが魅力
⇒海が見える・感じられる生活や、景観など、気持ちに起因する魅力要素が多い
⇒人との触れあい・コミュニケーションも魅力要素

◆主な意見／討議②：まちなかでの移動

- 徒歩や自転車で移動する理由～嬉しい・楽しい・気持ち良いとき～
⇒散歩・散策、気分転換、季節を感じる、潮風や空気感、健康、路地での新しい発見、立ち止まって話すことで嬉しい気持ちに
- 買い物や北部（山側）への移動はバスや車が多い傾向
- 改善要素
 - ・高齢化により車利用が困難になることに備え、バスの利便性向上（北部等への利便性向上、情報提供など）
 - ・道路が狭く車や自転車が錯綜して危険
 - ・自転車のマナー徹底や教育：茅ヶ崎ルール

◆主な意見／討議③：身近な自然、みどり

- 公園などの拠点の緑、松林、街路樹はもとより、家にある緑も含め、今あるみどりを大切に。
- 市民主体や協働で取り組みたいこと、改善要素
 - ・みどりを知ってもらう取組／動植物の写真を撮って発信し伝える仕組み、里山公園の螢など象徴的なみどりや自然の対外的なPR
 - ・維持管理などに関わる取組／維持管理や費用負担などに参加したい人のための制度づくり
 - ・高齢化に伴う宅地のみどりの管理支援
 - ・荒廃した畑の生産緑地や市民農園としての活用
 - ・空き家や空き地の手入れや管理
 - ・街路樹の落ち葉清掃、鳥の糞害

茅ヶ崎市都市マスタープラン策定委員会

中村英夫 委員長 コメント

- ・委員会では、茅ヶ崎の良いところを守る・伸ばすことが大事であると議論しており、特に魅力について参考になる意見が多くありました。
- ・市と市民と地域が協働でやるべき分野が増えていきます。都市マスタープランでも市民との協働を盛り込むことが大事だと思います。



茅ヶ崎市みどり審議会

荒井歩 委員 コメント

- ・みどりの基本計画の改定にあたって、皆さんの意見を反映させたいと思います。
- ・高齢化で維持管理が困難な庭のみどりのサポーター制度、市民が関わっても良い身の回りのみどりの管理、SNSで地域のみどり情報を発信などが出来ると良いですね。
- ・今日の意見を聞いて、茅ヶ崎らしい関わり方があると思いました。今後、行動に移していければ良いですね。



◆ちがさきの都市づくりを考える「グループインタビュー」の実施概要と主な意見

- ・近年（5年以内）茅ヶ崎市に転入したファミリー世代、高齢世代を対象に、転入理由や転入前に抱いていたイメージ、転入後のイメージギャップなどをグループインタビュー方式で把握（平成29年8月に実施）
- ・実施対象は、計8グループ、33名。
「子どものいる30～40代の男性・女性各2グループ」
「50代以上の男性・女性各2グループ」



＜主な意見／30～40代男性＞

●転入理由など

- ・藤沢市や平塚市、大船、横浜市などが他の転居先候補地
- ・住宅価格の安さ、治安面、街並みなどの理由から選択
- ・海辺のロケーションや湘南の雰囲気、海でのサーフィンやランニングが魅力

●イメージや住んで感じたことなど

- ・オンとオフがはっきりしていて、ゆったりした時間、気持ちの余裕を感じる
- ・東京までの鉄道での近接性や居住地の近くで用を済ませられる利便性などに満足
- ・身近なちょっとした広場がないこと、幼稚園やスポーツ施設の不足、医療費補助が不満要素

＜主な意見／30～40代女性＞

●転入理由など

- ・藤沢市や横浜市、平塚市などが他の転居先候補地
- ・住宅の取得価格、水（海）とみどりがある自然環境、治安や雰囲気の良い、買い物などの生活利便性から選択
- ・家族との同居や実家へ戻るといった事情も転入の要素

●イメージや住んで感じたことなど

- ・湘南のおしゃれなイメージは魅力要素
- ・海や緑に身近にふれあえる環境はイメージ通り
- ・都会過ぎず、生活利便性が高いことが魅力要素
- ・子どもが遊べる身近な屋根や日陰のある公園の不足、医療費の助成や保育、幼稚園は不満要素

＜主な意見／50代以上男性＞

●転入理由など

- ・加山雄三やサザンといった茅ヶ崎ブランドへの憧れ、湘南のイメージや空の広さ、海が見え感じられる生活から居住地を選択
- ・東京への移動利便性や、都会でも田舎でもない良さが居住地選択の要素
- ・藤沢市や鎌倉市などが他の転居先候補地。小田原はのんびりし過ぎのイメージ

●イメージや住んで感じたことなど

- ・気さくでオープンな雰囲気が魅力要素
- ・観光地のようにざわざわしていない海辺のイメージは期待に反しない
- ・田舎とまちが同居しているイメージ
- ・待機児童が多く保育園事情は不満要素

＜主な意見／50代以上女性＞

●転入理由など

- ・猫や犬が2匹飼えるペット事情から住居を選択
- ・海が見えたり、潮のにおいを感じられる生活や、程よい田舎、のんびりした雰囲気、東京まで乗り換えなしで行ける駅から徒歩圏内の生活利便性から居住地選択
- ・藤沢市や鎌倉市、横浜市や川崎市などが他の転居先候補地。相模川は越えたくないとの意見もあった
- ・子どもとの近居も転入の要素

●イメージや住んで感じたことなど

- ・オンとオフの切り替えができ自分が好きなように時間が使える
- ・駅から歩いて海に行けることや、駅まで徒歩でアクセス可能なことは魅力要素
- ・自転車マナーや教育の徹底が重要
- ・健康診断やスポーツ施設、子育て環境など行政サービスは藤沢が優位

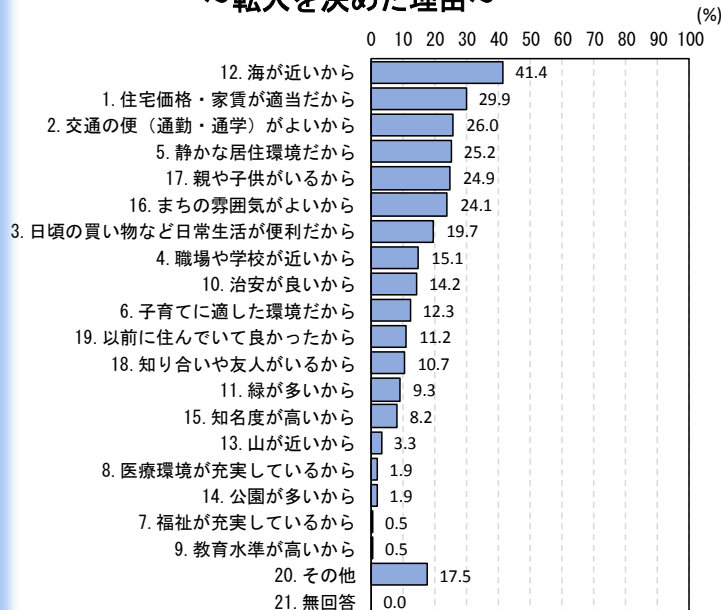
◆転入者への「Web アンケート」の実施概要と結果概要

- ・近年（5 年以内）茅ヶ崎市に転入した方を対象に郵送で協力依頼を送付、URL・QRコードを案内しWebで回答する方式で実施
- ・転入理由、茅ヶ崎市以外に考えた居住地、住んでみての評価などを把握
- ・発送数：2,037 人、回答数：365 人（回収率 17.9%）
- ・平成 29 年 7 月～8 月に実施

【結果概要】

- ・過去に市内居住経験のある方は約3割
- ・転入前の居住地は横浜市、藤沢市など県内が約半数
- ・茅ヶ崎市以外に考えた移住先は藤沢市 38%、横浜市 14%、平塚市 5%など。県内が約 8 割
- ・転入を決めた理由は、「海が近い」41.4%、「住宅価格・家賃が適当」29.9%、「交通の便」26.0%、「静かな居住環境」25.2%、「親や子どもがいる」24.9%、「まちの雰囲気」24.1%。「日常生活が便利」19.7%など
- ・住み続けたい理由として「まちの雰囲気」、「日常生活が便利」、「静かな居住環境」などが高い評価
- ・転出したい理由は「行政サービス」「子育て環境」「公共施設や介護・医療施設」など

～転入を決めた理由～



これらの市民参加で確認した「茅ヶ崎らしさ」は、都市マスタープランの基本理念や分野別の取り組み方針、各個別計画の理念や目標等に反映、活用していきます。

《次回予告》

次回は、今回の市民参加の結果から捉え直した「茅ヶ崎らしさ」の考え方や都市マスタープランの基本理念などについて報告します。

発行：茅ヶ崎市 都市政策課

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号

TEL：0467-82-1111(内線 2342)

FAX：0467-57-8377

E-mail：toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

